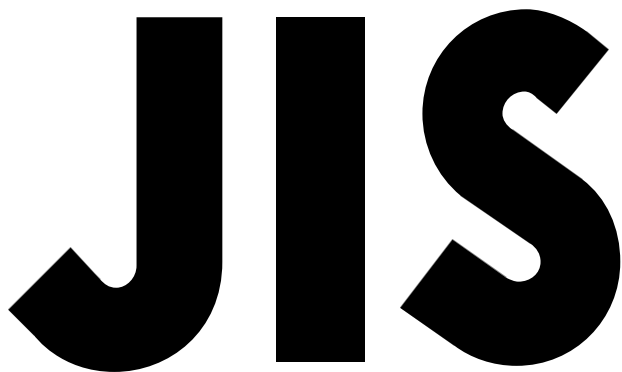




空気圧用継手－第 1 部：
熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手

JIS B 8381-1 : 2022

(JFPA/JSA)

令和 4 年 2 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	松 橋 隆 治	東京大学
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20 改正：令和 4.2.21

官 報 掲 載 日：令和 4.2.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本フルードパワー工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-5391)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び記号	2
5 I型プッシュイン継手の使用条件	2
6 J形プッシュイン継手の使用条件	3
7 構造	3
8 チューブ外径	4
9 寸法	4
10 表示	15
11 性能要求事項及び試験方法	15
12 呼び記号	26
13 識別表示	28
14 包装の表示	28
附属書 A (規定) 試験用ポリアミドチューブ	29
附属書 B (規定) 試験用ポリウレタンチューブ	31
附属書 JA (規定) 試験用ポリアミドチューブ及びポリウレタンチューブ	33
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	37
解 説	41

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本フルードパワー工業会（JFPA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 8381-1:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 8381 規格群（空気圧用継手）は、次に示す部で構成する。

JIS B 8381-1 第 1 部：熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手

JIS B 8381-2 第 2 部：熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手

空気圧用継手—第 1 部：熱可塑性 樹脂チューブ用プッシュイン継手

Connectors for pneumatic fluid power— Part 1: Push-in connectors for thermoplastic tubes

序文

この規格は、2020 年に第 2 版として発行された **ISO 14743** を基とし、国内の実用状況に対応するため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、図番号及び表番号の後に“A”から始まるラテン文字の大文字を付記した図及び表並びに**附属書 JA** は、対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、外径 2 mm～16 mm の熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手の設計及び性能に関する、一般要求事項及び試験方法について規定する。

この規格は、空気圧用として用いるプッシュイン継手（機器に埋め込むものを除く。）の統一された試験方法を確立することを目的とする。ただし、エアブレーキシステムには適用しない。

注記 1 陸用車両のエアブレーキシステムに、これらの継手は使われていない。

注記 2 この規格で使用する圧力の単位は、ゲージ圧力である。

注記 3 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14743:2020, Pneumatic fluid power—Push-in connectors for thermoplastic tubes (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0142 油圧・空気圧システム及び機器—用語

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 5598**, Fluid power systems and components—Vocabulary

JIS B 0203 管用テーパねじ

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 7-1**, Pipe threads where pressure-tight joints are made on the threads—Part 1: Dimensions, tolerances and designation